

明るいやまがた夏の安全県民運動

夏は長期休暇、レジャー、暑さによる気のゆるみや疲労などから交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や街頭犯罪等も多くなる傾向にあります。

この時期にあたり、これらの事故を防止するとともに、青少年の健全な育成を図るため、県民総ぐるみの運動を推進し、「安全で明るいやまがた」を創ることを目的とします。

- ◎実施期間 7月20日（金）～8月19日（日）31日間
- ◎重点項目
 - 青少年の健全育成と非行防止
 - 子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
 - 海・山・川での事故防止
 - 街頭犯罪等の防止
- ◎推進事項
 - 家庭では 交通安全は家庭から
玄関の鍵はツーロックで
 - 地域等では 街頭活動を通して「声かけ運動」
地域ぐるみの防犯活動
 - 学校では 「良い悪い」を言える子どもに
他機関連携で問題行動の未然防止



本運動の地区出発式

「いそいでも かならずかくにん みぎひだり」
 自宅周辺の安全の確認・幼児の監視を怠らない
 飲酒運転「しない させない 許さない」
 海・山・川・沼の危険箇所点検
 「分かってる だったらやめよう 二人乗り」
 「反射材 つけて輝く 身の用心」

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動 重点期間7・8・11月

本県の次代を担う子どもたちの心身ともに健やかで人間性豊かな成長は、県民みんなの願いであり、社会全体で見守り育む責務があります。子どもたちが事件や事故に巻き込まれ、犯罪の被害者となることのないよう、大人が子どもたちの目線に立って、子どもたちが自由に学び、遊び、行動できる環境を作ることが大切です。

次に、幅広い本運動を焦点化し、具体的な行動目標を3つに絞り込んだものを紹介します。この夏の7・8月が重点期間となっておりますので、多くの方々に柱の1つだけでも日ごろ心掛けていただき、青少年健全育成の一助としてもらいたいものです。

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動3つの柱

1 あいさつ・見守り運動

～子どもを家庭・地域で育てよう～

- ①オアシス運動（おはよう、ありがとう、しつれいします、すみません）
- ②コミュニケーションを深める（会話する、地域行事への参加等）
- ③見守る（話を聞く、認める、ほめる、ときに励ます、注意する等）

2 モラル・マナーの向上運動

～大人が子どもの手本となろう～

- ①ゴミ・空き缶・吸殻を捨てない、拾う、持ち帰る

- ②交通ルール・マナーを守る（歩行者に優しい運転、信号等の指示に従う等）

- ③公共の場のマナーを守る（高齢者・障がい者等に席を譲る等）

3 子どもを事故・犯罪から守る運動

～子どもの安全を地域全体で見守ろう～

- ①危険箇所や少年のたまり場等を安心・安全な環境に改善する
- ②未成年者への飲酒・喫煙の防止を働きかける
- ③万引きを「しない・させない・見逃さない」環境づくりを推進する



最上総合支庁協の幟旗